

無料

能登半島地震からの

くらし・すまい・なりわいの回復：

市民防災×事前復興の視点からの連続勉強会

公益財団法人 東京都都市づくり公社と東京都立大学は、2024年能登半島地震からのくらし・すまい・なりわいの再建についての共同研究を実施しています。能登半島地震被災地の「いま」を「わがごと」として、市民防災×事前復興の視点から考えていくための連続勉強会を開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

主催 公益財団法人 東京都都市づくり公社、東京都立大学

協力 一般社団法人 災害協働サポート東京

開催方法：Zoomによる配信

対象 自治体職員、社会福祉協議会職員、生協職員
能登半島地震の復興や市民防災に関心のある
学生や市民など オンライン300名まで

参加費 無料

申込方法：下記URL、または右QRコードよりお申込みください

<https://tmubousai202501.peatix.com>



03. 工藝的復興

2025/11/6(木)18:00-19:30

SPEAKER： 東京都立大学 教授 松田真希子さん

過去の開催

01. 被災地支援で民間団体が果たす役割

2024/12/18(水)

SPEAKER： ビースポート災害支援センター
事務局長 上島安裕さん

02. 広域避難・広域仮住まいへの支援

2024/ 2 月予定

SPEAKER： 東海大学 特任講師
須沢菜さん

問い合わせ先：東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科
都市防災・災害復興研究室
tmu_bosai@ichiko-lab.org

03. 工藝的復興

能登半島地震からの復興において、伝統産業の回復が果たす役割が注目されています。能登半島の工芸品として、輪島塗、珠洲焼、能登上布、七尾和ろうそくなどは有名です。そしてこれら工芸は、自然や歴史や文化と密接に結びついた営みでもあります。教育・研究活動として能登半島を震災前から訪問されていた松田真希子さんは、震災後の災害ボランティアや訪問活動を継続され、輪島塗り職人さんたちとの対話も踏まえて「工藝的復興」論を提唱されています。第3回勉強回では、伝統産業の回復が能登半島地震復興に果たす役割について、考えてみたいと思います。



日 時

2025/11/6(木)18:00-19:30



SPEAKER

東京都立大学 教授

松田真希子さん

専門は言語学、教育学。2012年に一橋大学大学院言語社会研究科にて博士号取得。2002年長岡技術科学大学を経て、2010年より金沢大学准教授、2023年より東京都立大学教授。主な著作は『松田 真希子, 中井 精一, 坂本 光代 (編)『「日系」をめぐることばと文化: 移動する人の創造性と多様性』くろしお出版, 2022。』



COORDINATOR

東京都立大学 教授 市古太郎

専門は都市計画・まちづくり、特に災害復興まちづくりと都市防災計画に詳しい。阪神・淡路大震災や東日本大震災などの国内震災、台湾921地震、ネパールゴルカ地震などの海外の災害復興研究に従事。またこれら災害復興研究の知見を基に「事前復興まちづくり」の手法開発に取り組む。近年は災害市民ボランティア活動と研究プロジェクトに従事している。



申込締切

2025/11/6 (木) 10:00まで